

# 令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0106 - 03

事務事業名	テレビ広報番組制作経費（区情報番組における発信力のさらなる強化）	担当組織	政策経営部	広報課
-------	----------------------------------	------	-------	-----

事業特性										
事業を開始する年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般	計画事業No.				
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsのゴール	4	8	10		
事業を構成する予算事業	① テレビ広報番組制作経費			②						

政策体系（令和4年度基本計画）				
地域づくりの方向	【体系外】新たな行政経営		政策	
施策			政策番号	
関連する個別計画			計画策定年度	
			計画期間	

## 1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象（具体的に記載）	としまテレビ（CATV）のコミュニティチャンネルを視聴できる区民
(2)事業の目的・期待する効果	区内ケーブルテレビ網を活用し、区の施策や事業など、幅広い区政情報を区民に分かりやすく伝える。
(3)事業概要	幅広い区政情報を発信するため、区内ケーブル会社のサテライトスタジオを活用し、火・水曜日を除く週5日間、生放送番組を制作し放映する。

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	区広報番組「としま情報スクエア」の番組内にて区政の最新情報を伝える「ニュースフラッシュ」コーナーを新設した。						
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）（達成率）	5年度（計画値）
	指標の説明	ケーブルテレビにおける番組視聴率の把握は困難であるため、代替的な指標として、番組の配信を行っている「動画配信サイトへのアクセス数」を成果指標として設定した。						
	未達成の状況	未達成	未達成または一部未達成の理由	概ね達成済み。外出自粛要請解除に伴いyoutubeの再生回数が伸びなかった関係で未達成。				

(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）（達成率）	5年度（計画値）
	指標の説明	活動量を測る資料として、ニュースフラッシュコーナーにおけるイベント・事業告知数を設定した。						
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由					
	① ニュースフラッシュコーナー イベント・事業告知数	↗	回		192	240	125.0%	245

## 2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	3年度		4年度			5年度			
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R4決算比）		
事業費	A	20,763	20,736	22,699	22,584	99.5%	22,586	2	
人件費	【正規（人数）】	—	(0.76)	—	(0.83)		(1.23)	—	
	【会計年度任用職員等（人数）】	—	(0.07)	—	(0.07)		(0.07)	—	
	人件費 B	B	—	6,712	—	7,307		10,707	3,400
事業費（人件費含む）	C=A+B	—	27,448	—	29,891		33,293	3,402	
財源内訳	国、都支出金							0	
	使用料・手数料	D						0	
	地方債・その他		2,640	2,640	2,640	2,640		2,640	0
	一般財源	E=C-D	—	24,808	—	27,251		30,653	3,402

### 3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和4年度成果と課題	<b>【指標の達成状況(a)】</b> →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	主管課の持つ細かな情報を入手したい、社会情勢を踏まえ番組構成を適宜見直し、周知徹底を図るため同内容を当日と翌日に4回放映。																		
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																					
(2)業務(事務)改善にむけての取組み	<b>【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	各課及び事業者と適宜連絡を取り合い、区の最新情報を提供できているため。																		
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																					
①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)																						
最新情報をニュースフラッシュで伝えるにあたり、各課から情報が中々集まらない点が課題となっている。現状広報課より各課へ広報する情報がないか、逐一確認を行っている。																						
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)																						
ニュースフラッシュへの情報提供をきっかけとして各課との連携が進み、積極的な情報発信の意識を醸成できた。																						
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>対応、改善を既にを行った</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>令和4年度は、区民に区政の最新情報をわかりやすく、スピーディーに情報を伝える発信方法を検討した。</td> <td>予算措置</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>対応・改善予定(上記ではない場合は更なる)</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>対応、改善の予定がない理由</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	令和4年度は、区民に区政の最新情報をわかりやすく、スピーディーに情報を伝える発信方法を検討した。	予算措置	有	対応・改善予定(上記ではない場合は更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由							
対応、改善を既にを行った	はい	はい	取組内容及び効果	令和4年度は、区民に区政の最新情報をわかりやすく、スピーディーに情報を伝える発信方法を検討した。	予算措置	有																
対応・改善予定(上記ではない場合は更なる)	有	無	対応、改善の予定がない理由																			
選択肢に関わらず																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>対応、改善の内容</td> <td>各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。</td> <td>予定時期</td> <td>2024年3月</td> </tr> <tr> <td>予算措置</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>予算措置を伴う理由</td> </tr> </table>					対応、改善の内容	各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。	予定時期	2024年3月	予算措置	有	無	有				予算措置を伴わない実施との比較検討				予算措置を伴う理由		
対応、改善の内容	各課から広報課へ情報提供がスムーズに行われるように、当コーナーの浸透を図る。また旬の広報情報は広報課でももらさず順次告知を行う。	予定時期	2024年3月																			
予算措置	有	無	有																			
			予算措置を伴わない実施との比較検討																			
			予算措置を伴う理由																			
(3)必要性/優先度	<b>【区が実施する必要性(c)】</b> S、A、B、Cの4段階で評価 →	B	根拠	インターネットに不慣れな方々に対し、より新しい区政情報を発信するツールとして重要な番組である。																		
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																					
①区が実施する理由(複数選択可)																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>                     区の他の事業より注力すべき事業である。                      ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック                 </td> <td> <input type="checkbox"/> </td> <td>                     法律の要請を受けて行う事業である。                 </td> </tr> <tr> <td>                     民間事業者等に同様のサービスがない。                 </td> <td> <input type="checkbox"/> </td> <td> <input checked="" type="radio"/>                     その他(理由)                 </td> <td>                     区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため                 </td> </tr> </table>					区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。	民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> その他(理由)	区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため											
区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。																				
民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> その他(理由)	区政情報を発信するツールとして重要な番組であるため																			
②区民ニーズ																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(活動)</td> <td>①</td> <td>指標番号(成果)</td> <td>①</td> <td>サービス利用者数</td> <td>50名以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td>推移</td> <td>↗</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上				推移	↗	推移	↗		
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)	①	サービス利用者数	50名以上														
			推移	↗	推移	↗																
「有」「無」ともに記入																						
区民ニーズに対する認識																						
主に高齢者によるニーズが一定量あると推測される。																						

総合評価(d=a+b+c) ランク3

#### 4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	①通常時の生放送番組については、引き続き区の施策や事業など、幅広い区政情報を区民に分かりやすく伝える方法を検討しながら放映を行う。 ②災害時にケーブルテレビと連携した情報発信ができていない。 ③友好都市等の情報を相互発信できているのか確認ができていない。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	①②③なし
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	①令和4年度の発信方法に加え、5年度からは区長が月に1回当番組に出演し、区長自ら「8つのまちづくり」をはじめとする区の話の事業について主管課長とともに説明、紹介を行っている。 ②L字システムの導入等、災害時の有効な情報発信について、としまテレビと検討を進める。 ③長野県箕輪町と映像作品等の相互放映を行う。
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	①概ね順調。各実績は下記の通り。 ・令和5年4～6月番組制作数:63回 ・令和5年4～6月ニュースフラッシュコーナー イベント・事業告知数:59回 ②災害時の情報発信について、これまでに5回、としまテレビと打合せを実施。 ③としまテレビに照会。年に1回程度箕輪町の番組を放送していることを確認。7/10としまテレビにて箕輪町「第34回みのわ祭り～今ここから始めよう～」を放送。(実務的には文化観光課観光交流グループと箕輪町が対応している。)
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	①番組で放送した情報を見てイベントに参加したという意見がとしまテレビに届いた。 ②令和元年度の台風19号接近時にショップチャンネルが放送されていた旨の苦情があった。 ③なし
⑥上記⑤に対する対応	①今後も引き続きさまざまな情報を放送し、本番組の視聴者が増えるような工夫をする。 ②災害情報を迅速に区民に届けられるようなシステムの構築を検討する。 ③豊島区と箕輪町における映像作品の相互放映を引き続き行う。

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	広報媒体の一つとして、テレビ広報は有効であり、現状の放映本数を維持する必要があるため。
---------------	------	----	---

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B:改善・見直し
---	----------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

テレビ広報は昨年度より最新情報をお伝えするコーナーを設け、今年度からは区長や所管課長が出演して、区が目指すまちづくりを説明する番組を毎月放映するなど、改善を積み重ねてきている。情報の入手手段が多様化する中、今後とも様々な広報媒体を連携させながら、よりわかりやすく、区民の皆さまに「伝える」だけでなく、「伝わる」広報を目指していく。

また、災害時の情報発信や友好都市との情報交流についても、区民の皆さまに適時適切にお伝えできるよう検討を重ねていく。